

## 会 議 録

1. 会議名	台湾の教育局との覚書（MOU）締結について
2. 開催日	令和7年12月18日（木）
3. 出席者	市長、副市長、小西市長公室長、阪上企画財政部長、的場企画財政部副部長 田家総務部長、森田総務部副部長 担当部：石田教育長、岩脇教育推進部長、高橋教育推進部副部長 三石教育保育課長、橋本教育保育課主任

4. 会議の目的
台湾の教育局との覚書（MOU）締結に向けて検討を行う
5. 補足説明（現状、課題など）
<ul style="list-style-type: none"> <li>・「子どもが主体的に学びを展開する時間のモデル」として、本市の児童生徒が海外の子どもたちとオンラインを活用した国際交流学习に取り組んでいる。</li> <li>・令和6年度は、小学校5校、中学校4校。令和7年度は、12月時点で小学校6校、中学校4校が手紙交流やオンライン交流等の実践に取り組んでいる。</li> <li>・取り組みを進めるにあたり、継続性と交流校の確保、交流校との調整に時間を要するなどの課題がある。</li> </ul>
6. 担当部の方向性
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続性と交流校の安定的な確保のため、①時差の影響が少ないこと ②英語を第2言語として学習していること ③令和6年度に交流実績があること ④本市が目指す教育との親和性が高いことから、台湾の教育局との覚書締結を行い、国際理解教育を促進する。</li> <li>・覚書締結先として、台北駐大阪経済文化弁事処と協議を行い、これまでの交流実績等をふまえて新竹市と屏東市の二市と結びたい。</li> </ul>
7. 質疑・意見等
<p>質問：覚書締結にあたり、川西市国際交流協会と連携することを考えているか。</p> <p>回答：まずは教育分野における連携のため、教育委員会と台湾の教育局との間で覚書締結を行う。その後、他の分野における連携も発展していくと良いと考えている。</p> <p>質問：本件について、市民や議会への報告はどのようにして行うか。プレスリリースの時期や保護者への通知方法についてはどのように計画しているか。</p> <p>回答：適切な時期や方法について、ご意見を伺いたい。</p> <p>意見：紙文書で通知すると良い。プレスリリースの前に議会へ情報提供。その後、保護者に対して通知する。具体的な通知のスケジュールを組むべきである。また、施政方針の中でも説明する必要がある。セレモニー等の開催も検討すると良い。</p> <p>質問：覚書締結にあたり、予算を計上するか。</p> <p>回答：オンラインでの交流を主とするため、予算計上はしていない。ただし、覚書締結にあたり、教育長が提携先の自治体を訪問するため、旅費が必要となる。</p>

意見：プレスリリースや通知の際には、令和6年度以前の取り組み（令和5年度の交流についてなど）も掲載すべき。今回の覚書締結は、従来各学校の裁量で行ってきたオンライン交流について、市として環境を整備し、安定性・継続性を持たせることが目的。市として仕組みを整えることで、市内のどの学校においても交流できるようになる。

回答：覚書締結にあたり、カリキュラム検討委員会を立ち上げる予定である。川西市と台湾の双方の教師が協働でカリキュラムの作成にあたる。オンライン交流を単発のイベントとして行うのではなく、カリキュラムの一部として位置づけ、継続性を持たせたい。

質問：保護者通知やプレスリリース等、具体的にどのタイミングで行うか。

回答：今後、台北駐大阪経済文化弁事処を通じて新竹市と屏東市へ正式に依頼を行う。そのため、2市からの返答を受け、教育長の台湾訪問日程が決定し、覚書の内容が定まった段階で判断したい。

## 8. 結論

会議での意見を踏まえて覚書の締結を進めるとともに、資料に基づいて市議会へ説明する。